

木ネジ下穴型紙

※ダウンロード版

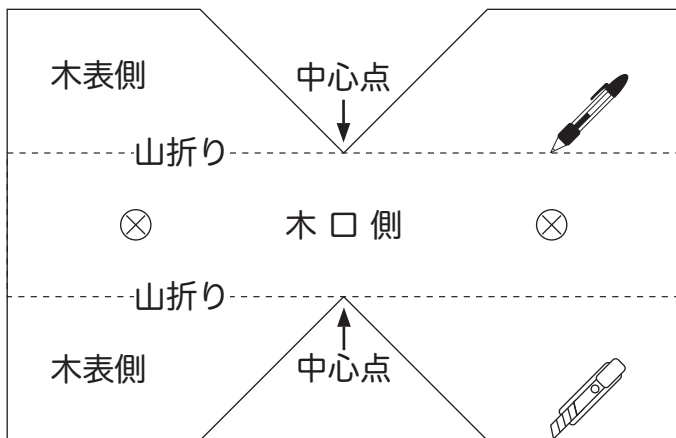
縮小拡大はせず実寸で印刷してください。

下穴をあけなくても取り付けできますが、下穴を開けるときれいに仕上げることができます。下穴をあけなくても、この型紙で木ネジを差し込む際の目印をつけることができます。下穴ドリルは直径2.5ミリが目安ですが材質によります。端材で試すのがオススメです。1×4材の寸法は19mm×89mmですが寸法にバラツキ、歪みがあり、型紙が合わないことがあります。部品を1×4材に実際にあてる現物あわせでビスの目印をつける方が正確な場合があります。

①型紙の切り出し方

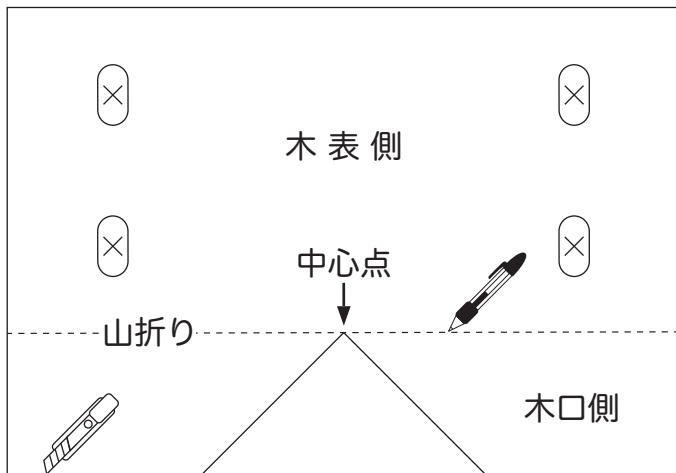
- ①定規を使い、点線をボールペンでなぞってください。まっすぐな折り目がつき、きれいに折ることができます。
- ②定規を使い、実線をカッターで切りだしてください。
- ③切り出したら、ボールペンでつけた折り目を山折りします。

■上部差込部、下部受け部(共通)の下穴型紙



下上部の下穴の深さは15mm程度です。

■ホース接続部(上下共通)の下穴型紙

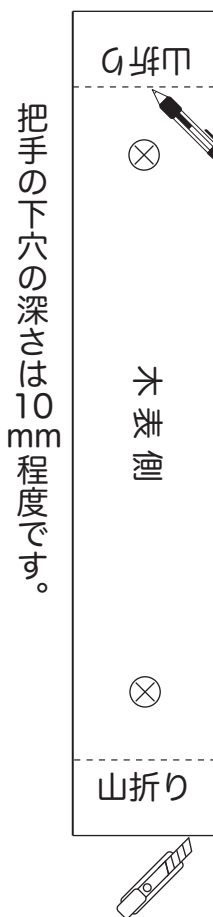


本体部の下穴の深さは10mm程度です。

※材木の部分名称



■把手の型紙

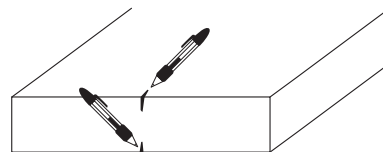


把手の下穴の深さは10mm程度です。

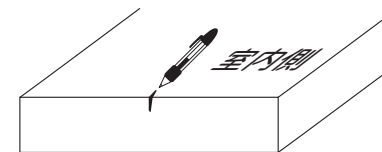
※把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止ワイヤーを取り付けできる任意の箇所に取り付けてください。

②型紙の使い方

- ①1×4材を定規で測り、中心に目印をつけます



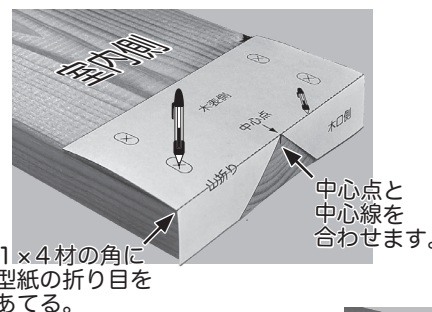
上部差込部、下部受け部には裏表に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。



ホース接続部は室内側に、木表と木口の角にまたがるように中心線をボールペンで目印をつけます。

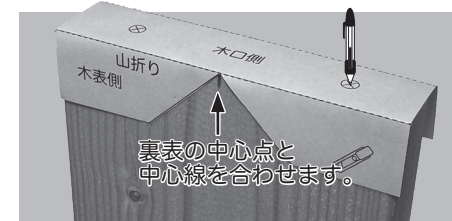
- ②型紙を下写真のように1×4材にあてて、バツ印⊗をボールペンで刺して印をつけます。1×4材の角に、型紙の折り目をしっかりあてるのが正しい位置に印をつけるコツです

■ホース接続部の型紙の当て方

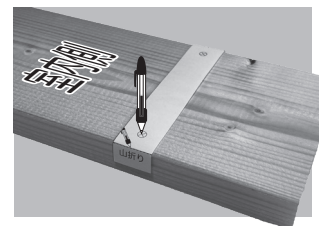


1×4材の角に型紙の折り目をあてる。

■上部差込部と下部受け部の型紙の当て方



■把手の型紙の当て方



※把手に決まった取り付け位置はありません。取り回しやすく、かつ脱落防止ワイヤーを取り付けできる任意の箇所に取り付けてください。

- ③ボールペンで印をつけた所に、下穴キリで適度な深さに下穴を開けます。下穴キリがない場合は、先の尖ったドライバーや千枚通しを刺して穴をあけるだけでも下穴の代わりになります。